県議会レポート

34号 平成27年11月 発行

〒520-1121 高島市勝野129-3
TEL.0740-36-2077 FAX.0740-36-0237

パソコン タブレット スマホ
清水てつじ ホームページ
http://shimizu-tetsuji.jp
清水てつじ

チームしが

清水てつじ

一般質問に立つ

9月定例会議 一般質問

一 魅力ある高校教育について

Q 普通科の全県一区制の実施以降10年を迎え、様々な問題が生じています。10年間の総括と検証をどう考えているのか

A 教育長 全県一区制度につきましては、制度導入後10年が経過したことから、来年度、県立高等学校の魅力と活力ある学校づくりの推進を図る中で、**制度の総括と検証**をしてまいります。

Q どうしたら子供たちがこの制度の中で地域内の高校を目指すようになるのか

A 教育長 地域との連携や地域産業との結びついた特色ある教育内容の充実により、各学校の魅力を高め、特色を中学生や地域の方々に、わかりやすく説明し、発信することにいっそう工夫してまいります。

Q 滋賀県の産業の担い手、地域産業の後継者育成に関わる専門学科の取り組みについて

A 教育長 地域と連携した取り組みを通し、滋賀を支える**職業人、地域産業の第一線で活躍できる人材を育成**してまいります。

Q 湖西線沿いに新しい専門学科等を新設し広域的に中学生が学ぶことができる状況を検証すべきと思うがどうか

A 教育長 湖西線沿線における専門学科等の設置について、生徒や産業界のニーズがあるのか、進路先の確保を含め検討してまいります。

再質問

Q 湖西線、特に北部の生徒が通学しやすい高校の学科等の配置が求められると思うがどうか

A 教育長 県全体も魅力と活力ある県立学校づくりを考える中で全県一区の検証とともに、地域の中学生のニーズを踏まえ、魅力ある**新たな学科等の設置をどう進めるか検討**します。

Q 県内の高校と大学の連携について

A 教育長 生徒の学ぶ意欲を高め、主体的な進路選択に大きな役割を果たすとともに、高校の魅力を高め、地域に根ざした特色ある学校づくりにもつながると考えており、**高大連携**の推進に努めます。

再質問

Q 県内の各大学との連携について、具体的にどのようなものを考えていくのか

A 教育長 それぞれの地域や近隣にある大学と高校がどう連携できるかを踏まえ、高校の教育内容の一層の充実や特色化を図れるような大学との連携を、それぞれの学校で検討し、研究をさらに進め、そのような方向に近づくよう推進してまいります。

関西広域連合 9月議会 一般質問

1 琵琶湖・淀川流域に係る防災対策について

❶ 原子力発電所での事故を想定した広域的な給水の検討について
❷ 琵琶湖・淀川以外の流域での研究会設置と評価について
❸ 防災・減災プラン（風水害対策編）の具体的な取組状況について

答弁者 井戸連合会長

2 鳥獣害対策について

❶ カワウ対策について
❷ ニホンジカ対策について
❸ 人材育成プログラムの具体的なスケジュールとどのような人材の育成を目的にしているのかについて

答弁者 三日月委員

琵琶湖大橋通行料金値下げ

琵琶湖大橋有料道路については、追加事業（合計約84億円）いたします。内容は、琵琶湖大橋の耐震化、周辺道路の4車線化による現在および将来の混雑箇所の解消、ETCの導入等です。

平成28年4月より、表の通り値下げ。

料金徴収期間は平成41年8月まで。

琵琶湖大橋本体の耐震対策、A、B区間の4車線化を実施

	普通	軽自	大型Ⅰ	大型Ⅱ
❶ 現行料金	200	150	300	710
❷ 新料金	150	100	200	500
20%割引をした場合	120	80	160	400

※20%割引は平成32年4月導入予定です。（ETC使用車のみ）

ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実

「30分以内での救急医療体制」の確立

平成27年4月28日、栗東市の済生会滋賀県病院を基地病院とする京滋ドクターヘリが運航を開始しました。

これにより、天候にも左右されますが、滋賀県内どこでも30分以内に救急医療が提供できる体制が整いました。

ドクターヘリと患者を乗せた救急車が合流する場所、ランデブーポイントは高島市内に22ヶ所設置しており、ランデブーポイントの救急車内でドクターヘリに搭乗している医師と看護師が初期診療を行います。

ドクターヘリ出動要請は、**キーワード方式**により消防本部通信指令課が行います。

京滋ドクターヘリはこれまで高島市内へ27件出動し、ドクターヘリだからこそ救えた命が既に1件あります。

キーワード方式とは?

119番に電話があった時に、通報者の内容に、例えば「交通事故で閉じ込められている」「高い所から落ちた」「意識が無い」「急に呂律が回らなくなった」等のキーワードがあれば、直ちにドクターヘリ出動要請を行うものです。

要請件数 （ ）内は高島市要請

年度/年	件数/件
平成25	14(1)
平成26	18(3)
平成27 10/10時点	184(27)

※平成25･26年は大阪府ドクターヘリ、平成27年は京滋ドクターヘリを利用

ドクターヘリ救助訓練の様子

ドクターヘリ・ランデブーヘリポート一覧表（高島市）

指示番号	名称	指示番号	名称
1	京都精華大学朽木グラウンド	12	梅ノ子運動公園
2	高島市立マキノ北小学校	13	びわ湖こどもの国芝生広場
3	高島市立マキノ東小学校	14	高島運動公園
4	マキノ高原スキー場 駐車場	15	高島市民病院
5	高島市立マキノ南小学校	16	新旭グラウンド
6	高島市立今津西小学校	17	総合運動公園駐車場
7	高島市立広瀬小学校	18	森林スポーツ公園野球場
8	朽木スキー場 駐車場	19	高島市横山農村広場
9	高島市朽木グラウンド	20	ピックランドグラウンド
10	高島市消防本部グラウンド	21	陸自大供グラウンド
11	グリーンパーク想い出の森	22	朽木中学校グラウンド

チームしが

清水てつじ

県議会レポート

34号 2015年11月 発行

〒520-1121 高島市勝野129-3 TEL.0740-36-2077 FAX.0740-36-0237 http://shimizu-tetsuji.jp 清水てつじ

朽木小入谷の紅葉

『生きるの教室』湖西中学校でがん教育

2015.10.14

10月14日にバイエル薬品100周年記念企画「生きるの教室」が湖西中学校2年生105名を対象に、東京大学医学部付属病院放射線科准教授／緩和ケア診療部長中川恵一先生をお迎えして開催されました。また、患者スピーカーとして岸田徹様には東京からお越し頂きました。

今年度、全国で3市にて計画され、その中で滋賀県高島市を選んで頂きました。

子供達はがんのことについて、家族とも話し合う機会がなく、私自身もそうでしたが、間違った知識を持っておられました。後半の授業の中で「大切な人の命について考える」をテーマに、グループワークで活発に話し合いが行われました。

最後に中川先生から**「今日学んだことを必ず家族に報告してください。そして今書いた文章を渡してください。」**と言われました。ひとりでも多くの方の命を助けたい、という先生のお気持ちが子供達に伝わったと思います。子供達の代表が、**「がんは死ぬ病気だと思い込んでいたけど、早期発見で治ると分かった。家族にも検診の大切さを伝えたい。」**もうひとりの方は、**「おばあちゃんが、がんで亡くなった時、大変悲しかった。今日学んだことで、お母さんはがんから守りたい。」**と言っておられました。校長先生からも**「この授業をして良かった。」**と言われました。

がん患者は増えておりますが、がんは治る病気です。生活習慣の改善とがん検診率を高めることが大切です。

地域要望を受けて

❶ 新旭町 一級河川 今川浚渫工事要望

木津区より一昨年の台風18号による堆積土砂の浚渫の要望があり、現地調査。平成27年8月浚渫完了。

平成27年9月1日

❷ 新旭町 一級河川 林照寺川浚渫工事要望

地元住民より浚渫の要望があり、現地調査。年度内完了予定。

平成27年5月17日

❸ 今津町 県道藺生 日置前線補助道路 整備事業要望

三谷区、伊井区より県道藺生日置前線補助道路整備の要望があり、現地調査。11月車道部供用開始。

平成27年6月2日

❹ 安曇川町 県道小浜朽木高島線 中野工区の橋の 整備要望

県道小浜朽木高島線中野工区橋梁工事に支障となる電柱の早期移設に関し、関西電力を訪問。早期移設完了。11月供用開始。

平成27年6月3日

❺ 朽木 県道市場 野田鴨線 整備要望

地元住民より市場野田鴨線の側溝等、道路施設整備の要望があり、現地調査。平成27年7月完了。

平成27年6月8日

❻ 高島 萩の浜 グランド護岸 復旧工事要望

地元住民より護岸の早期復旧工事の要望があり、現地調査。平成27年8月完了。

平成27年4月22日

❼ マキノ町 ガニ川砂防事業 及び支流大谷川の 応急対策要望

山中区より砂防事業の早期着工及び応急対策要望があり、現地調査。砂防事業は予備建設中、応急対策は平成27年9月完了。

平成27年7月22日

❽ マキノ町 一級河川百瀬川 改修事業及び 生来川の 維持管理要望

沢区より百瀬川河川改修工事の促進、生来川の繁茂する草木の除去要望があり、現地調査。

平成27年8月28日

❾ 安曇川町 県道四津川鴨線 横江地先歩道整備要望

横江区より四津川鴨線の横江区集落から西へ約200mの歩道整備要望があり、現地調査。平成27年度、着手予定。

平成27年10月7日

❿ 一級河川鴨川水系（鴨川、八田川、青井川）の 早期整備及び浚渫要望

県土木、高島市土木、流域自治会、流域関連市議会議員の皆さんと、一級河川鴨川の工事進捗状況の現地調査と要望聞取り。

平成27年10月20日

高島市で知事生活体験

▲三日月知事、安曇川町中野に一週間生活体験・実践活動をされ、その中で地域交流として、地元の流しそうめんのイベントに参加

高島・京都市民交流

▲高島高等学校吹奏楽部も出演

◀第二回市民交流コンサート 京都堀川音楽高校にて盛大に開催

高島市民病院まつり

4月よりがんの拠点病院に指定され、市民の皆さんに向けてがん予防啓発に積極的に取り組んでおられます。

10/18 十八川区防災訓練

今年9月に、十八川区で一級河川安曇川からの越水を防ぐための堰板を保管する防災倉庫を建設されました。

今回の訓練当日は県道を1時間程度通行止めにして、多くの区民のご参加のもと、堰板をはめる実践さながらの防災訓練を実施され参加しました。これからも地域住民の皆様と一緒に防災に努めます。

十八川区防災訓練（堰板設置）

地域イベント

地域行事に参加させていただきました。

10/18 マキノ町びわ湖高島栗マラソン

10/11 朽木地域ふるさとスポーツカーニバル

8/2 新旭町 ラシーヌ ホーム 針江 オープンセレモニー参加

10/11 安曇川町リバーサイド区秋祭り

10/11 今津地域運動会

8/8 たかしま夏まつり（高島地区）

編集後記

9月議会では、高浜原発再稼動問題や「（仮称）人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」等、様々な議論が交わされました。この時期は来年度に向けた政策と予算要望が始まります。常に現場を確認しながら皆様の声を聞いて、新たな政策実現に向けて前進しなければなりません。地域の人の輪を大切にし、高島の魅力を引き出し、初心忘れず取り組んでまいります。